

USBメモリ(セキュリティ付き)の使い方

個人情報が入ったファイルやデータを収納するには、セキュリティ付きのメモリ装置の利用が必要です。ここでは、ELCOMのセキュリティ付きUSBメモリを例に使用法を学習します。

1. 購入したUSBメモリにパスワードを設定する: USBメモリをパソコンのUSBポートに挿入すると、「リムーバブルディスク(E:)」のウィンドウが現れるので、「フォルダを開いてファイルを表示する」をクリックします。続く右の画面で


Pass.exe () をダブルクリック。

表示される初期設定の画面で、パスワードを入力します。

パスワードで保護されるフォルダ「PASSフォルダ」が作成され、

「PASS」画面および「エクスプローラ」に表示されます。

「PASS」画面で「隠して終了」とします。USBメモリを外す場合は「ハードウェアの安全な取り外し」を使用して、安全な取り外しがOKになってから外します。

2. 設定後の使用方法: USBメモリをパソコンに取り付け、「リムーバブルディスク(E:)」の画面で、Pass.exe () をダブルクリックしてPASSを起動。

パスワードの入力画面になるのでパスワードを入力しOKとします。


「リムーバブルディスク(E:)」の画面で、隠されていた「PASSフォルダ」が

表示されます。この状態で、「PASSフォルダ」に入っているファイルを読み出したり、作成・修正した

ファイルをここに保存することができるようになります。セキュリティで保護したいファイルは全て「PASSフォルダ」に保存するようにします。

右図では、「PASSフォルダ」とは別のフォルダ(「一般」という名前のフォルダ)を作成してありますが、セキュリティがかかるのはPASSフォルダのみです。PASSフォルダ外のファイルを利用する際はPASSの起動は不要です。

終了時は、「リムーバブルディスク(E:)」画面で

Pass.exe () をダブルクリックして「PASS」画面を起動し、「隠して終了」をクリックします。

USBメモリを外す場合は上記1と同じく「ハードウェアの安全な取り外し」を使用して取り外します。

